瑞穂ケーブルテレビ株式会社
2023年度　第16回番組審議委員会　議事録

日時：2023年12月6日（水）17：30～18：30
会場：たかはしや（箱根ヶ崎140）

【出席者】

番組審議委員　５名（敬称略）
　細渕浩昌（委員長）
　関谷　忠
　榎本和己
　川鍋悦子
　水村探太郎

放送事業者側出席者　１１名
　荻野喜美雄（取締役会長）
　楠見　裕（代表取締役）
　奥田貴哉（取締役）
　佐藤敏光（取締役）
　田中洋子（局長）
　石井明美（監査役）
　森田一法（制作課長）
　瀬崎一哉（制作係長）
　福田直美（制作課）
　井上詩歩（制作課）
　鹿島美保（制作課）

【次第】

1. 社長あいさつ
2. 委員長あいさつ
3. 出席者紹介
4. 審議事項
　1）コミュニティチャンネルに於ける生中継
　2）意見交換（１の審議事項について）
5. その他
　1）グループ会社の新事業について

1. 瑞穂ケーブルテレビ社長挨拶（楠見社長）

本年は開局から２０周年という節目の年となりました。
新型コロナウィルス感染症が５類に移行され、昨年度に比べ取材環境が改善されました。
瑞穂町の皆さんに新しい情報を発信し、更に新しいもの挑戦したいと切磋琢磨しています。制作課に瀬崎社員が増員され更に充実した番組作りが可能となります。
今年度、大きく変化した部分として営業課が入間局に統合され、瑞穂局は制作専門の局となりました。
審議委員の皆様には、番組に対して屈託のないご意見を期待いたしております。
今後も皆様のご指導ご協力をお願いいたします。

2. 番組審議委員長（細渕委員長）

コロナ禍の状況が緩和され、瑞穂町でも様々なイベントが復活してきている中、瑞穂ケーブルテレビが瑞穂町の様子を発信し、情報として町の皆さんに届けて欲しいと思います。
制作社員より活動報告がありますので、委員の皆さんには様々な意見出して頂き、瑞穂ケーブルテレビの後押しをお願い致します。

3.出席者紹介

審議委員及び役員、社員の紹介。

4.審議事項「コミュニティチャンネルに於ける生中継」森田社員

●接続世帯数：　　4,375 世帯　（加入率 31,0%）
加入可能世帯数：14,338 世帯　　2023 年 10 月末現在
●年間取材本数：　976 本（12 月～11 月）　　（前年同期　965 本）

「コミュニティチャンネルに於ける生中継」を事業者が説明した。
コミュニティ番組について総括した。テーマは「コミュニティチャンネルの主役は町民」

・新型コロナウィルス感染症が 5 類に移行され、町のイベントが増加、４年ぶりに開催されたものが数多く取材対象となった。改めて「コミュニティチャンネルは町民ありき」と感じた。
・営業課統合は、営業主導の番組が打切りや生中継等の大規模収録時の人員確保など様々影響が出ている。
・福田社員主導で新番組「私たちの未来日記」を制作放送 10 月から開始した。
瑞穂農芸高校の部活動を中心に若者たちの姿にスポットを当て発信している。
・生中継に関しては、他局からのヘルプを得て実施している。

・8 月より瀬崎社員が加わり、技術課のエキスパートとしてスキルを活かした生中継等の対応が期待されている。通常取材等では町民に顔を覚えて頂き、番組作りに活かして貰いたい。次年度からは本人主導の番組を企画担当する事も期待する。

・生中継について本年実施された生中継３本の VTR を視聴しながら説明

1) コミュニティチャンネルの醍醐味でもあり視聴者に臨場感を与えることができる
2) 人員確保・失敗が許されない緊張感・スキルアップに繋がる
3) 駅伝競走大会⇒７カメ、６元中継実施（グループ最大）
4) 町議会議員選挙⇒出口調査を行い、結果に基づき開票速報実施
5) 三地区夏祭り⇒入社３年目の井上社員主導で実施

・新番組「私たちの未来日記」VTR 視聴

1) 若者たちが頑張っている姿を見て元気をもらう。
2) 将来的に何か成功した生徒がアーカイブとして活かせたらいい。
3) 農芸高校の新しい取組等にもフォーカスしていきたい。

*コンセプト：コミチャンの主役は町民、（コロナ禍の状況から更に強く意識するスタートとなった）

	説明	
ニュース番組 **「フレッシュ！みずほ」ND** **(15 分)** **ナレーション：福田直美・井上詩歩**	毎週火・木・土曜日（週２～３回更新）１日３回放送 瑞穂町内を中心に取材したニュースを「フレッシュ」なうちに放送する速報性重視の番組。 番組の最後に「ヒノトントン ZOO」の動物癒し映像を提供し視聴者に楽しんでいただく。	
広報番組 **「みずほニュース」** **（15 分）** **MC：瑞穂町デジタル推進課職員**	隔週木曜日更新 1 日 6 回放送＊ガイドチャンネル 2 回含 瑞穂町の広報番組。町の魅力や行政情報を解かり易く放送。職員が出演することで、視聴者が役場に親近感がもてる番組。	
週刊ニュース **「のめっこ！みずほ」** **（30 分）** **MC：魁生真里**	毎週日曜日更新　１日４回放送 年間 450～500 ネタ取材、毎週 8～10 ネタ程度で構成している週間ニュース番組。ジャンルを問わず話題性・地域性のあるものをピックアップ。その他消防・警察コーナーを隔週で放送。	
情報番組 **「みずたま！」（15 分）** **MC：魁生真里**	毎週日曜日更新　１日３～４回放送 町内外のおでかけスポットを中心に紹介「マリっとごしょうかい！」のコーナーを中心とした情報番組。 番組を視聴したお客様が実際にお店に行く事例が多い。（可能な範囲で YouTube 配信の予定）	

舞台発表番組 **「ENGEI!」(60 分)**	毎週日曜日更新　１日１～２回放送 町内で開催されている様々な演芸大会等を中心に放送。カラオケ・民謡・踊り等、極力カットすることなく放送しているため、演者の方に好評。	
散歩番組 **「ぶらり瑞穂の裏道」** **(30 分)** **MC:田中洋子+瑞穂局・入間局社員**	毎週日曜日更新　１日３回放送 14 年目を迎えた長寿番組。毎回、町内を歩いて瑞穂町の魅力を発見発信している。アポなしで町民の素の部分を大切に制作。自局調べの視聴率が高く、町民は勿論、入間市民からの反響もとても大きい番組。	
イベント紹介番組 **「ズームアップ！みずほ」** **(120 分)**	毎週日曜日更新　１日３回放送 瑞穂町で行われたコンサート・イベント・スポーツなどを放送。毎年 4～5 回の生中継や、総合文化祭の模様、町内小中学校の運動会や卒業式、合唱コンクール等も放送。町民主役の２時間番組。	
インタビュー番組 **「この人に聞く」(15 分)** **MC:田中洋子・鹿島美保**	毎月更新　＊1・4・7・10 月を除く 瑞穂町のトップランナーに仕事への情熱を聞き魅力に迫る番組。趣味等を聞き人柄紹介。	
インタビュー番組 **「町長に聞く」(15 分)** **MC：鹿島美保** 出演：杉浦裕之町長	「この人に聞く」の放送枠で 1 月・4 月・7 月・10 月更新 町長が取り組んできた町政施策への振り返りと展望を町長自ら分かりやすく伝える番組。毎回町長が選んだ写真を１枚紹介しエピソードを聞くコーナーを設け、人柄も紹介	
子どもサイエンス番組 **「科学で遊ぼう！」** **(30 分)** **MC：鹿島美保** 先生：高橋強志	毎月更新 町内の小学生が参加しながら科学について学べる「子供向け」科学番組。 毎回テーマを設け、子ども達が科学に興味をもてるようにしている。今年は学校での収録が復活し、可能な限り子供たちが出演する収録となっている。	
健康促進番組 **「みずほきらめき体操」** **(15 分) ＊10 月～3 月**	毎月更新 ボランティアセンターみずほの協力により、町内の社会福祉施設と、楽しみながら体を動かす番組を制作。 2023 年 10・11 月「菜の花」、12 月～2024 年 1 月「みずほ病院」、2024 年 2・3 月「フラワープラム」で収録。 健康促進は勿論、町内の社会福祉施設の親しみやすさを紹介し、視聴者に笑いを提供することも目的とする。	
営業番組 **「みずほテレビ情報局」** **(15 分) ＊9 月で終了**	毎月 2 回更新　1 日 1 回放送 営業課員の人柄や趣味を掘り下げながらケーブルテレビのサービスを紹介する新番組。	

	制作課の福田が聞き手となり素朴な疑問にも営業課が分かりやすく答えています。長期的な視点での営業獲得と解約防止を目指す。 コンテンツによっては、YouTube にアップすることで未加入者への訴求を図る。	
瑞穂農芸高校紹介番組 **「私たちの未来日記」(15 分)** **＊新番組** **＊10 月開始**	毎月 2 回更新（隔週放送）1 日 1～2 回放送 生徒一人一人が自分と向き合い、仲間と一緒に打ち込む姿を紹介する番組。農芸高校独自の活動にも触れながら、現代の高校生の姿を捉え放送。	
ドライブ番組 **「瑞穂の道」（10 分）**	毎月更新 瑞穂町の道路の四季を音楽とともに届ける番組。 ドライブ感覚で視聴できる番組	
風景番組 **「瑞穂の彩り」（5 分）**	毎月更新 ４K カメラで撮影した瑞穂町の四季の風景等を中心に制作・放送。	
瑞穂町議会一般質問（120 分）	議会開催の翌月曜日から放送（13：00～／22：00～） １日 2～３名ずつ一般質問の内容を放送	
生中継	1 月 21 日：瑞穂町駅伝競走大会 4 月 23 日：町議会議員選挙　開票速報 7 月 9 日：三地区瑞穂夏祭り	VTR 視聴
大型収録	8 月 19 日：みずほサマーフェスティバル 11 月 11・12 日：瑞穂町産業まつり	

その他

・スポーツ収録：第６回スマイルカップ：グループ４局対抗少年野球大会（11 月）
・各コンサート収録：パック収録実施（主に学校主催合唱コンクール等）
・アーカイブ番組：プレイバック！みずほ・ぶらり瑞穂の裏道リターンズ・ほっと！みずほ
・特番制作：年末特番・年始特番・町おこしイベント「OHAKO」・敬老会・農芸「瑞高祭」
・他社制作番組：知のコスモス・みんなの健康塾ちゃんねる・知の回廊・グループ局制作番組
制作社員の紹介

5.意見交換　（議事進行／細渕委員長）

委　員：ZOOM 使用は、電波的に問題があり映像・音声の途切れが気になる。

事業者：モバイルルーター使用も視野に入れ対応。
選挙速報の場合、以前は予め現場収録した素材をスタジオから発信していたが人員の問題、現場の臨場感が伝わらないため現在のスタイルにしている。
又、無線カメラを使用した生中継も視野に入れ進めている。

委　員：防災無線・防犯カメラ等、公的な施設を利用することはできないか。

事業者：電波法で映像を使用することは不可。

委　員：４年ぶりに行われた夏祭りに関して、生中継で現場の様子を伝えることも大切だが、番組の合間合間に祭り本番に向けた準備や伝統を守る様子をVTRで伝えてくれたことが良かった。祭りの裏側で努力している姿を紹介し、伝統文化を継承することの大切さが町民に伝わったと思う　。

事業者：後継者問題は充分承知しているので、地域メディアとしてできるだけ、発信していくつもりでいる。

委　員：生中継の前に過去の映像を流していただき、伝統文化の良さを知った上で リアルタイムの放送を見ることが出来ないか。

事業者：今年開局20年の年末特番を作成中で、20年間の過去の映像を集め瑞穂町の良さが伝わる番組に作り上げている。

委　員：視聴者に親しみやすい番組が望まれる。特に「ぶらり瑞穂の裏道」は、気取りが無く町の隅々を紹介し、長年住んでいても新たな発見があるため、是非、永く続けて欲しい。

事業者：町民の素の姿をそのまま放送に乗せることも人気の一因と感じる。
番組を視て視聴者が実際に体験していることを聞き改めて影響力を実感。

事業者：瑞穂町の小学校で取材拒否の事例が出てきていることが危惧される。
取材可能が圧倒的に多い中、一部の拒否者によって実行できないジレンマがある。

委　員：学校に限らず、多数の人が集まる場に於いては取材許可が必要となる。
学校に関して教育委員会主導だけで結論を出すのではなく、「校長判断」も残す必要がある。

事業者：全ての学校に関わるイベント以外は、個々の学校との交渉や歩み寄りで、粘り強く対応していく。

委　員：卒業式等コロナ禍に於いて出席制限がある中、ケーブルテレビの放送で視る楽しみがあったが、それもNGとなると祖父母の楽しみが無くなってしまう。

事業者：ケーブルテレビが町の伝統文化を守るために一翼を担う必要を感じている。

委　員：とても親しまれているケーブルテレビと感じている。
今後も良い関係でいられたらと思い、防災についても大事と感じた。

事業者：町報等の紙媒体も大事だが、視覚から入る情報は安易に受け取ることが可能なため、高齢者の皆さんにも伝わると考えます。

委　員：町の伝統文化の継承を支えつつ、新しい事に挑戦し、タイムリーな放送ができる放送局を目指して欲しい。
事業者：皆様の貴重なご意見を参考に更なる高みを目指してまいります。

6.その他「グループ会社の新事業について」　荻野会長

・昨年より農業会社を設立

1）ソーラー発電事業展開、
各ケーブルテレビ局舎屋上にソーラーシステムを完備
大規模ソーラーシステム…関東各地７ヶ所に展開

2）日本の食料自給率 37%⇒新しい実践的な農場を展開
東松山野菜工場⇒レタス 4000 株/日
入間いちごハウス⇒昨年より販売開始
入間トマトハウス⇒本年 12 月より販売開始

以上